

平成 28 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社グリーンペプタイト  
代表者名 代表取締役社長 永井 健一  
(コード番号:4594 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理部長 酒井 輝彦  
(TEL. 03-5840-7697)

### CTL 誘導組成物に関する欧州特許庁からの特許査定について

この度、当社ががんペプチドワクチンとして開発を進めるペプチドに関して、CTL<sup>※1</sup>ががん細胞へ誘導する技術の特許出願が欧州特許庁より特許査定<sup>※2</sup>を受けましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 特許の概要

発明の名称	CTL inducer composition
特許番号	14169857.1
特許権者	株式会社グリーンペプタイト

本特許は、ペプチドが複数の HLA<sup>※3</sup>に結合することを利用した発明に関する欧州への出願です。がんペプチドワクチンは、体内でペプチドが HLA に結合した状態で CTL 等の免疫細胞に認識されることが作用メカニズムの起点となります。HLA には型があり、個人によっても異なりますが、地域や人種によっても分布の傾向があります。したがって、複数の HLA にペプチドが結合できることは、そのペプチドワクチンの対象患者が広がる可能性を示唆しています。

本特許では、複数の HLA に結合しうるペプチドを多数同定し、これらのペプチドに関して出願を行っていましたが、この度、欧州において、特許に記載したペプチドの一つについて権利成立の目途をつけることができました。

今後、今回登録となったペプチド以外の本特許に記載された他のペプチドについて、順次権利化を進めてまいります。

#### 2. 業績予想に与える影響

本特許査定による当社の平成 29 年 3 月期の業績に与える影響はありません。

以 上

#### 【語句説明】

- ※1 CTL (Cytotoxic T Lymphocyte) …細胞傷害性T細胞。リンパ球のうちのT細胞の一種。細胞表面のT細胞受容体を通じて、樹状細胞等の抗原提示細胞から提示された異物を特異的に認識し、その異物を表面上に提示しているウイルス感染細胞やがん細胞を認識し、殺傷することができます。以前はキラーT細胞とも呼ばれていました。
  
- ※2 特許査定…各国特許庁の審査によって「出願に記載された発明が特許権を得るに値する発明である」と判断された場合に示される審査結果です。特許査定後に特許料を納付することにより、該当する国において特許権が登録され、権利が発生します。
  
- ※3 HLA (Human Leukocyte Antigen) …ヒト白血球抗原。体のほぼ全ての細胞表面で発現がみられる、免疫機構において重要なタンパク質です。HLAは、自己と非自己(他)を区別する「自他認識のマーカ―」であり、非常に多様な「他(た)」を自己と区別するために、多様な型があります。ペプチドはHLAの特定の型に結合し、型が合わない場合は結合しません。

#### 【株式会社グリーンペプチドについて】

当社は、人が体の中に備え持つ免疫の力を利用してがんを殺傷する「がん免疫治療薬」の研究開発を行う創薬ベンチャーです。がん免疫治療は、手術、放射線療法、化学療法に次ぐ、がんの「第4の治療法」となることが期待されています。

当社は、革新的ながん治療薬の創出を目指し、がん免疫治療薬の開発を進めています。